

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《交通安全施設維持補修事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計		事業類型	法定受託系		担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	維持係			
	総合計画 新基本計画	施策等	6 都市基盤		23 道路		2 交通安全施設を整備します				
			重点事業		実施計画事業	○					
	予算区分	款	8	項	2	目	6	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	目的	何・誰を対象に	市民・道路利用者								
		どの様な状態にするのか	交通安全施設の維持補修及び設置により施設の機能を向上させ、交通上の安全を確保する。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、損耗及び破損した防護柵、カーブミラー、道路照明灯等の交通安全施設の補修を行う。また、危険な場所に交通安全施設の設置を行った。 ・照明灯修繕計画を策定し、計画的修繕を行う。 ・横断歩道橋は、計画的に補修及び落橋防止の地震時の対策工事を行った。 ・職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>道路照明施設点検業務委託 920基(委託料:36,924千円)</p> <p>道路照明施設修繕計画策定業務委託 920基(委託料:10,908千円)</p> <p>横断地下歩道橋点検業務 3箇所(委託料:2,160千円)</p> <p>測量設計業務委託 1橋 桃ヶ丘横断歩道橋(委託料:1,328千円)</p> <p>【工事内容】</p> <p>交通安全施設設置工事(工事請負費:52,444千円)</p> <p>防護柵 514m、区画線延長 21,080m、道路反射鏡 25基、道路照明灯 5基</p> <p>交差点標示器 18基、カラー舗装 281㎡</p> <p>横断歩道橋耐震補修工事 1橋(工事請負費:25,712千円)</p> <p>藤ヶ丘4号橋センターブリッジ(a)(前年度繰越し)</p> <p>横断歩道橋横断歩道橋補修工事 3橋(工事請負費:6,296千円)</p> <p>ペDESTリアンデッキNo1(前年度繰越し)、明治村1号橋(翌年度繰越し)</p> <p>藤ヶ丘4号橋センターブリッジ(b)(翌年度繰越し)</p> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】</p> <p>測量設計業務委託 4橋(委託料:13,000千円) 小松寺横断歩道橋外3</p> <p>【工事内容】</p> <p>交通安全施設設置工事(工事請負費:85,000千円)</p> <p>防護柵 1,250m、道路反射鏡 50基、道路照明灯8基</p> <p>区画線延長 30,000m、交差点表示器 15基</p> <p>横断歩道橋補修工事 1橋(工事請負費:28,000千円)</p> <p>桃ヶ丘横断歩道橋</p>									
受益者負担	無										

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	70,940	124,037	135,772	126,000	
		正職員	従事者数	人	0.77	0.52	0.77	0.77
			人件費	千円	4,235	2,860	4,235	4,235
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	75,175	126,897	140,007	130,235	
	対前年比	%			168.8	110.3	93.0	
財源	一般財源	千円	73,525	111,332	128,787	97,400		
	国・県支出金	千円	1,650	15,565	11,220	32,835		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	績	防護柵設置	m	目標	1,200	1,400	1,200
実績				1,051	1,051	514	
	道路照明灯設置	基	目標	10	10	10	10
			実績	5	2	5	
	補修工事実施歩道橋	橋	目標	2	4	2	1
			実績	1	3	2	
業	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	年間交通事故発生件数(人身事故)	件	目標	—	—	—	—
実績			1,104	1,006	814		
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	限られた予算内での維持修繕および地元要望による交通安全施設の設置は、計画通り発注でき目的は達成した。防護柵、道路照明灯は、設置する種類(柵の高さや種類、照明灯は電柱共架型と自立式)により目標値よりも少ない数値となった。				
		事業実施における課題	交通安全施設に係る地元要望や市民ニーズは年々増加傾向にあるため、個別の優先度の判断が要求される。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	交通安全施設の整備を進めることにより、安心安全なまちづくりに大きく貢献している。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	老朽化した道路施設の点検結果から随時修繕工事を進める。道路照明灯においては27年度に策定した修繕計画に基づき、計画的に修繕を進める。また電気料金の抑制や環境へのCo2削減に配慮し、道路照明のLED化導入の検討を進める。				
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	道路施設の老朽化、市民ニーズの多面化により交通安全に関する要望は多くなっていることから、継続的な予算の確保が必要である。					
	29年度以降の改善案	道路施設の更新や市民ニーズの多面化が進む中、優先度の高い事業を中心に予算化していく。より効果的で経済的な施設や工事方法を検討して事業化していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。